

今回の取り組みにより目指す社会



誰でも等しく良質かつ適切な
保健医療サービスを受けられる



常に患者さんを中心に考え、
医療上の課題解決に向けて挑戦

目指す社会

- **質の高い切れ目のない医療サービスにより、患者（住民）のアウトカム・QOLの向上**
 - ウェアラブル等の新しいサービスを用いて、日常生活において患者が自ら健康管理できる
 - 状態によっては、家にいながら症状把握-診察-医薬品の受け取りまでの医療サービスが完結できる
 - リアルタイムのデータを元に適切な時期、場所での医療を享受できる
- **新たな市場・産業の創出される医療社会**
 - プラットフォームへ様々な産業の企業がオープンに参加できる体制とし、イノベーションを生み続ける
 - 患者を起点としたデータを元に、新しいサービスの開発

患者・住民のメリット

- 患者・介護者が、診察と診察の合間においても、今まで以上に自分の症状を的確に把握できる
- 医療関係者に対して、自らの症状を的確に伝達できる
- 通院の身体的・経済的な負担を軽減できる
- 患者データを基にした、症状予測、最適な医療の提供(プレジジョン医療)によるQOLの向上ができる
- 患者データを基にした新しいサービスをいち早く享受できる